

令和6年度 夏休み親子生活教室を開催しました

令和6年8月7日（水）、8日（木）、9日（金）の3日間、県内在住の小学生とその保護者を対象に、夏休み親子生活教室を開催しました。

この教室は、幼いころから金銭や商品に関心や興味を持っていただく消費者教育・啓発活動のため、社会貢献活動の一環として消費者への教室を開催している企業のご協力を得て、茨城県消費生活センターが開催したものです。

8月7日（水） 消費生活教室「お金は大切に使おう」 科学教室 “おなか元気で”よい生活リズムを学ぼう



消費生活教室は、映像の視聴や講話を通してお金の大切さを考え、小学生でも身近なお店での買い物や、スマホを使ったインターネット販売での契約について学ぶ機会となりました。

また、科学教室では「早ね・早起き・朝ごはん+朝うんち」を合言葉に、体の模型を使って食べ物の通り道や腸の働きを知り、毎日の生活リズムを整えるコツを勉強しました。

食事を摂ると自分の体の中にどんな変化がおきているのか、クイズでは参加者が元気に手を挙げて答えたり、意外な答えにびっくりした様子でした。

毎日を元気で健康に過ごすにはどうしたらよいか、わかりやすい講師の話に10組21人の親子が耳を傾けていました。

【協力：水戸ヤクルト販売株式会社】

8月8日(木) 消費生活教室「お金は大切に使おう」
科学教室 “備長炭で電池を作って”電気の正しい使い方を学ぼう



生活になくてはならない電気ですが、使い方を誤るとケガや火災のもとになることもあります。安全を確保した上で行ったショートを起こす実験では、参加者の目の前で散る火花に危険性を実感することができました。

また、備長炭をもとに電池を作る工作では、親子で協力しながらオルゴールを上手に鳴らしたり、プロペラを速く回転させるにはどうしたらよいか工夫する姿が見られました。

この日の科学教室は、15組33人の親子が電気はどうやって作られるのか、家の中で危険な使い方をしていないか、家庭でも話し合うよい機会となりました。

【協力：一般社団法人関東電気保安協会茨城事業本部】

8月9日(金) 消費生活教室「お金は大切に使おう」
科学教室 “お菓子で”食品表示やおやつの食べ方を学ぼう



科学教室の講師が「おやつを食べ過ぎて怒られたことがある人!」と質問すると、参加者の小学生のほとんどが手を挙げていましたが、おやつの量や時間など、決まりを守っておやつを食べれば大切なエネルギー源になることなどを知ることができました。

スナック菓子の材料にもなっている野菜は植物のどの部分か、難しいクイズにも挑戦し、回答を聞いた参加者は野菜への興味も深まったようでした。

身近なスナック菓子の話から、必要なカロリーや原材料を知る方法まで、15組33人の親子が楽しく学ぶことができました。

【協力：カルビー株式会社東日本事業部】



このページに関するお問い合わせ

県民生活環境部消費生活センター 茨城県水戸市柵町1丁目3番1号

TEL 029-224-4722 FAX 029-226-9156